

特別支援学校における技能検定の実施状況等について

令和2年6月19日
特別支援教育課

1 技能検定の実施状況

(1) 趣旨

特別支援学校高等部に通う知的障害のある生徒の就労を支援するため、学校や関係企業団体（※）と連携して本県独自で開発した認定資格に基づく「技能検定」（実技）を、上期、下期で計10回実施した。

※関係企業団体（公社）広島ビルメンテナンス協会、（一社）日本ホテル・レストランサービス技能協会
広島県スーパーマーケット協会、（公社）日本メディカル給食協会

(2) 受検者数、級認定者数の状況

令和元年度特別支援学校技能検定の受検状況は、表1のとおりである。

令和元年度は、庄原特別支援学校、広島北特別支援学校でサテライト型の技能検定を実施し、庄原特別支援学校では1分野で延べ8人、広島北特別支援学校では1分野で延べ88人が受検した。

【表1】令和元年度特別支援学校技能検定受検状況

| 分野 | 受検者数（人） | | | |
|-------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1回 | 第2回 | 計 | （参考）H30計 |
| 清掃 | 515（505） | 529（521） | 1,044（1,026） | 1,067（1,057） |
| 接客 | 66（65） | 77（77） | 143（142） | 122（120） |
| ワープロ | 117（117） | 144（144） | 261（261） | 275（275） |
| 流通・物流 | 99（92） | 121（113） | 220（205） | 294（279） |
| 食品加工 | 92（88） | 94（94） | 186（182） | 189（186） |
| 合計 | 1,854（1,816） | | | 1,947（1,917） |

※ 人数は延べ人数、（ ）内の数は級認定者数。

※ サテライト型で実施した庄原特別支援学校及び広島北特別支援学校の受検者数は第1回に含む。

(3) 認定状況

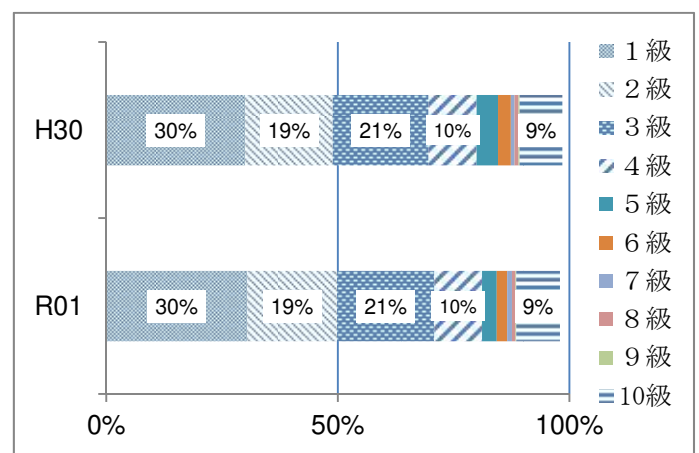
総受検者の98%がいずれかの級に認定された。

また、広島県障害者技能競技大会（ひろしまアビリンピック）に毎年20人以上参加している（H29：23人、H30：27人、R01：21人）。技能検定を通して身に付けた知識・技能を活用し、さらに高い目標に向かって挑戦しようとする生徒が増えている（R01：金賞1人 銀賞1人 銅賞3人 努力賞1人）。

(4) 合理的配慮について

技能検定の本質的な目的から外れない範囲で、必要な受検者、延べ49件（H30：43件）に、合理的配慮を提供した。合理的配慮により、技能検定に参加して自分の力が発揮できたという経験を積み、卒業後も自分から支援を求め、社会参加することに生かしてほしいと考えている。

【図1】級の認定状況（R01年度とH30年度の比較）



2 他の就職支援の状況

(1) 特別支援学校就職サポート隊ひろしま（以下「サポート隊ひろしま」という。）

令和2年3月24日（火）のサポート隊ひろしま推進企業の表彰式において、就労促進等に著しく貢献した企業として、社会福祉法人若菜、特定非営利活動法人広島自立支援センターとともに、株式会社チューゲイ、医療法人好縁会、株式会社第一ビルサービス、広島内外美装株式会社を表彰した。

サポート隊ひろしま表彰企業



また、「サポート隊ひろしま」のCMを作成し、広島東洋カープ公式試合日にマツダスタジアムで放映したり、SNSに掲載したりするなど、広報活動を行ったところ、登録企業数は令和2年3月末現在、367社となった。

サポート隊ひろしまCM



登録企業へ就職者数は、年々増加（【表2】）しており、効果が徐々に表れているが、企業の障害者雇用への理解啓発と生徒の就職支援のため、引き続き周知を図る必要がある。

(2) 特別支援学校の特色ある取組の情報発信

令和元年度は、知的障害特別支援学校及び視覚障害特別支援学校においても、企業の採用担当者等を招き、「企業の参観日」（学校により名称は異なる）を実施するなど、各校が特色ある取組を情報発信し、企業就労への促進を図った。

【表2】サポート隊ひろしま登録企業への就職者数

| 年度 | 登録企業のうち、卒業生が就職した企業数 | 左記企業への就職者数 | 就職者数のうち、登録企業へ就職した者の割合 |
|-----|---------------------|------------|-----------------------|
| H29 | 36 | 64 | 36.4 |
| H30 | 44 | 88 | 47.3 |
| R01 | 55 | 93 | 53.8 |

3 就職状況

令和元年度特別支援学校高等部の卒業生440人に対し、就職率は38.0%（就職者167人）（【表3】）である。

これら内定者のうち、約83%の生徒が技能検定を受検している。

一般企業への就職率が下がった主な要因としては、昨年度と比較し、当初からの就職希望者の割合が少なかったためと考えている。

【表3】特別支援学校高等部（専攻科除く）卒業生の就職率の推移

| 卒業年月 | H30.3卒 | H31.3卒 | R2.3卒 |
|----------|---------------|---------------|-------|
| 広島県 | 35.0% | 40.8% | 38.0% |
| 全国平均（順位） | 31.2% （9位） | 32.3% （3位） | - |

4 今後の取組

生徒への就職支援のため、引き続き次の事項に取り組む。

- (1) 特別支援学校技能検定の実施（上期はワープロ及び清掃（テーブル、自在ぼうき）、下期は5分野による実施）
- (2) 有識者や部会員等の意見を踏まえ、技能検定の実施内容に係る検証及び改善の検討
- (3) サポート隊ひろしま登録制度の周知及び企業登録の促進
- (4) 職業教育の充実による実践的な力の育成
- (5) 各特別支援学校の特色ある取組の情報発信並びに企業及び保護者への理解啓発